

日本医歯薬専門学校 平成 29 年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者: 保科 英俊

日 時	平成 29 年 6 月 15 日(木) 9:30 ~ 11:00
場 所	日本医歯薬専門学校 地下一階
参 加 者	●学校関係者評価委員会 委員 =敬称略= <保護者代表> 木内 和佳子(歯科衛生士学科Ⅰ部3年生 木内 母親) <地域代表> 糟谷 一(杉並区町会連合会、高円寺中央地区町会連合会、高南二丁目町会) <企業代表> 細見 洋泰(杉並区歯科医師会) <企業代表> 富田 基子(東京都歯科衛生士会) <卒業生代表> 加瀬 保奈美(歯科衛生士学科Ⅱ部 卒業生) <高等学校代表> 及川 勉(昭和第一学園高等学校) ●学校法人東京滋慶学園 関係職員 <理事長> 中村 道雄 <学校長> 須田 英明 <教育顧問> 近藤 健示 <副校長> 山崎 彰(事務局長兼務) <教務部長> 勝原 修吾 <学部長> 富田 恒雄 <学生サービスセンター長> 保科 英俊
議 題	進行: 山崎
1. はじめに (須田学校長)	・この会議は本校にとって重要な会議。質の保証と質の向上の為に必要な会議。現在産学連携が重要といわれております。その中で職業実践専門課程の学校として運営できているのは、ひとえに、皆様のおかげです。皆様からの評価・ご意見を学校運営・教育に反映させていただきます。社会貢献をさせていただく、より良い人材を輩出する為にもよろしくお願いします。
2. 学園組織担当者紹介 (山崎)	各紹介
3. 学校関係者評価委員 ご紹介(山崎)	各代表者様ご紹介
4. 平成 27 年度事業報 告(山崎)	【資料①②参照】 ・昨年の学校関係者評価委員会のご意見をふまえ課題、気づき ・平成 28 年度実績(目標)と総括 広報・・・達成 / 教育・・・未達成 / 就職・・・達成
5. 平成 28 年度 自己点検・自己評価 (山崎・勝原・富田・保 科)	【資料③参照】 (会議内での説明は会議資料の内容とさせていただきます、委員の皆様には、質疑応答をいただくと共に、ご意見・評価をご郵送いただく) ・1. 教育理念・目的・育成人材像(1-1-1・1-1-2・1-1-3・1-1-4) ・2. 学校運営(2-2・2-3・2-4・2-5・2-6・2-7) ・3. 教育活動(3-8-1・3-8-2・3-9-1・3-9-2・3-9-3・3-9-4・3-10・3-11・3-12-1・3-12-2・3-12-3) ・4. 教育成果(4-13・4-14・4-15) ・5. 学生支援(5-16・5-17・5-18・5-19-1・5-19-2・5-19-3・5-19-4・5-20・5-21) ・6. 教育環境(6-22・6-23・6-24) ・7. 学生の募集と受け入れ((7-25・7-26・7-27) ・8. 財務(8-28-1・8-28-2・8-29・8-30・8-31) ・9. 法令等の遵守(9-32・9-33・9-34-1・9-34-2・9-34-3・9-34-4・9-35)

6. 質疑応答(山崎)

(粕谷様) 特に地域に関して。杉八小学校での歯磨き指導。子供たちと向かい合う時間を共有してくれた。そのことは前向きでいいと思う。どんどん積極的に参加して欲しい。地域にはこどもの施設が多い。キャリアの経験になるのではないかな？

高円寺は商店街地域である。行事はそちらのことばかりになる。実行委員長の由井様から学生がよく動いている。ボランティアがよくわかっていて気の利いたガイドができています。地元の人間が口を出さなくても動いてくれる。

杉八小学校が震災救援所になってる。万が一震災等が起きたときはまず、学校が自己責任で生き残ることが第一。次にご近所。最後に震災救援所に頼る。備蓄も充分ではない。自身の学校を拠点として、余力があれば震災救援所を助けて欲しい。

(細見様) 海外研修に関して。行った学生の変化はあったのか？また、中国にはDHの制度が無い。この方々が日本で残って仕事をした時にデメリットが無かったのか？もし行けるのであれば中国からの留学生を獲得するほうが有用性が高いのではないかな？

⇒(富田・山崎回答) 海外は毎年行く場所が変わるが、職業感や考え方が変わっている。ただ、それを生かしてグローバルな展開、とまでは進んでいない。中国からの留学生は日本国内でビザを取得して働いている。今後は海外からの受け入れを積極的に考えている。

(富田様) 教育環境について。ファントム実習室について。ファントムはDHの基本。設置は素晴らしい。また、先日、日本医歯薬で再就職支援の案内を東京都DH会として発送したがかなり多い卒業生。

(加瀬様) 卒業生においても海外研修に行ける制度があるといいな、と感じます。海外で活躍されている方はモチベーションが高い。入学前のオリエンテーション、同窓会などは他校の卒業生の話を聞くと日本医歯薬はしっかりしている。

学校を辞めるのは何年生が多いのか？(1年生がほとんどという話を聞いて)バイトをしっかりすることでモチベーションがあがることもある。

就活も他校に比べ早い。いいことだと思う。離職率はどの学校も頭を悩ませていると思う。医歯薬の卒業生は4名いるが今のところ0名の離職。学生は同じ内容でも言う相手が違うだけで受け入れ方が違う。企業の方や先輩などを巻き込んだ就活を。DHの教員から卒業生の先生が欲しい、と言われているがなかなか子育てや結婚で見つからない。北原学院では医院を運営していて優秀な学生を囲っている。そのような方法もある。

(木内様) 保護者として国家試験の合格率が最低、という状況に気になっている。また、近所でも他校ではあるが衛生士学校を辞めてしまった方がいる。大丈夫かな？

⇒(山崎回答) 今回のみが合格率が悪かったが兆しはあった。一年次、二年次の積み上げ教育ではあるが最後に持ち上げる、ということができていたのができなかった。何時の時期から何をすればいいのかな？を学校全体で考え取り組んでいる。国家試験の出題傾向は年々現場に即した内容になっている。

(木内様) 実習先には恵まれている、と娘は話をしている。

(及川様) 学生募集に関して・・・すばらしい成果ではある。入学した学生が第一志望だったのかな？そうでない学生(第三、第四希望で入学)のDOが多いのではないかな？

・教育成果に関して・・・国家試験の合格率について。受験生の生活環境も含めての見直し。日々の生活の乱れなどもあるのではないかな？そこもふまえて見据えた改革を。

・多角的にいろいろなことに取り組んでいる学校という印象がある。教職員のモチベーションがどうなのか？疲れきっていないか？働き方改革を。

・地域貢献について・・・2020年に東京オリンピックに向けて貢献できないかな？夢のあるビジョンを描いて欲しい。

7. 事務連絡(山崎)	・評価シート記入・提出について、日当交通費について ・期限は 6/30(金)
8. おわりに (中村理事長)	・お忙しい中長時間に渡り、ありがとうございます。 ・貴重なご意見を学校運営に生かしていきます。 ・職業実践専門課程の学校は最先端の授業を行っているか？その研修をやっているか？そして情報を公開しているか？が重要だが現状は 32%程度の学校しか選ばれていない。医療系にあっては 30%をきっている。何故か？情報公開すると人が集まっていない、就職できていないといったことがわかってしまい学校運営ができなくなってしまうという恐怖心がある。 皆様のおかげで私たちは学校運営を適切に行っていただける。今後もより良い学校を目指してきます。

以上